

「芸能マネジメントコース」履修モデル

コースの人材像

経営学を基礎として、芸能(エンターテインメント)ビジネスをマネジメントできる人材の育成を目指す。本コースにおいては、コース専門科目を通して、芸能の文化的背景を理解し、その上で芸能ビジネスの特性を学習します。卒業後、芸能ビジネスの中核人材を担うべく、経営の基本項目として、マーケティング(市場分析・競合他社分析ができるようになる)、会計学(経営上の数字に強くなる)、経営組織論・経営労務論(人の管理ができるようになる)などの科目も履修します。
また、芸能ビジネスは一般的に音楽やダンスを伴うことから、DAW(コンピューターによる音楽作成)、ダンス、ボイストレーニングの実技科目から2種類程度を履修し、エンターテインメント表現の実際を学ぶことを推奨します。

何を学ぶか	授業科目名	1年次	2年次	3年次	4年次	単位数
芸能ビジネスの背景となる文化を学ぶ	音楽文化論	2				2
	メディア文化論	2				2
	ポップカルチャー論		2			2
エンターテインメントの実技を学ぶ(DAW、ダンス、ボイストレーニングの中から2種類程度)	DAW I A	2				2
	DAW I B	2				2
	DAW II A		2			2
	DAW II B		2			2
	ダンス I A	2				2
	ダンス I B	2				2
	ダンス II A		2			2
	ダンス II B		2			2
	ボイストレーニング I A	1				1
	ボイストレーニング I B	1				1
	ボイストレーニング II A		1			1
ボイストレーニング II B		1			1	
芸能ビジネスを運営する上での基本的事項を学ぶ	エンターテインメント論		2			2
	コンテンツ産業論		2			2
	イベントマネジメント		2			2
	エンターテインメント法務			2		2
	芸能ビジネス論 A			2		2
	芸能ビジネス論 B			2		2
エンターテインメント業界におけるケーススタディを通じ、企画提案力、製品開発力のスキルアップを目指す	芸創プロデュース演習 I A			2		2
	芸創プロデュース演習 I B			2		2
	芸創プロデュース演習 II A				2	2
	芸創プロデュース演習 II B				2	2
		14	18	10	4	46